

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65.0%	自校A B層の割合	60.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主研究を積極的に行い、ICTを使った授業改善の取組みを行う。 ・ 教科担任制による専門性の高い授業の実施（3～6年生） ・ 学び方を教えるの理念のもとに、「個別最適な学び・協働的な学び」が達成されるよう授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字強化週間を年3回行い、当該学年の漢字の定着を図る。 ・ 東京ベーシックドリルの診断テストを年6回実施する。また、毎週水曜日の朝学習で、ベーシックドリルの問題に取り組む。 ・ 4、5年生は、上記テストの内、3回を区実施の学力向上プロジェクトをもって代える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習は、宿題（教員から出す課題）と自主学習を合わせたものとし、低学年は、宿題中心、高学年は、自主学習中心となるよう段階的に主体的に学ぶ態度を育むと同時に、学習習慣の確立を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器を効果的に活用し、発達特性に合ったICT学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後補習事業者と連携して、C～D層の児童の学力定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主学習では特に、ドリルパークを活用し、間違った問題に繰り返し取り組ませる。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【児童アンケート】「授業で積極的にタブレットを活用している」肯定的回答割合90%以上 ・ 【児童アンケート】「教科担任による授業は分かりやすい」肯定的回答割合90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末実施の東京ベーシックドリルの診断テスト正答率85%達成者90%以上（1～3・6年生） ・ 区学力向上プロジェクトのテストの3回目で正答率70%達成者80%以上（4・5年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【児童アンケート】家庭学習時間が学年×10+10分を超えている回答割合90%以上